



NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL

# 消費増税とその対応

## Q & A

十七年ぶりの消費税率引き上げが四月一日に実施されました。税率は五%から八%に上がり、大半の商品の価格やサービス料金、公共料金が改定され、社会に戸惑いも見られます。私たち刀剣商にとっての疑問も少なくありません。そこで、身近な商売に関することを税理士(A.G.S.税理士法人鈴木秀弥先生)に教えていただきました。

**Q** 消費税引き上げ実施日は四月一日ですが、この日からすべての消費税を八%にしなければなりませんか？

**A** はい、四月一日の取引から八%にしなければなりません。

**Q** 消費税引き上げに伴う販売価格(税込)の変更を行わないとすれば、問題はありますか？

**A** 問題ありません。しかし販売価格に転嫁しない場合には、増税分を事業主が負担することになります。その分利益を圧迫することになります。今回の増税に伴い販売価格への転嫁は国の政策としても推し進められていますので、消費税に対する事業主の理解が求められています。

**Q** 三月からの販売価格(税込み)を変更しない場合に、「四月から消費税は五%に据え置きます」という類の販売表現は可能ですか？

**A** 消費税分を値引きする宣伝や広告、「消費税は転嫁しません」「消費税相当分値引きします」「消費税相当分次回購入に利用できるポイントを付与します」などの表示は禁止されています(消費者庁)。増税分を販売価格に適正に転嫁することが求められています。

**Q** 価格表示方法にルールはありますか？(内税、外税、本体価格+消費税の表示がなくても大丈夫？)

**A** 消費税は「総額表示」が求められています。総額表示とは支払う合計金額を意味

します。その方法としては複数定められています。消費者が値札などを見れば消費税相当額を含む支払い総額が一目でわかるようにしなければなりません。例えば、本体価格+消費税が百万円の場合、「100万円(税込み)」と「100万円」は問題ありません。

**Q** 三月に購入の意思表示を受けて、四月に支払いを受けて刀剣の引き渡しを行います。この場合の消費税は何パーセントになりますか？

**A** 取引が成立しているかどうか要件となります。三月に取引が成立しているのであれば、五月に取引が成立したのであれば八%となります。

**Q** 三月に六回分割(延べ払い)で刀剣を売りました。消費税は何パーセントになりますか？

**A** 同上です。取引が成立していると思われ、五%です。取引が成立していると思われ、五%です。

**Q** 三月に予約金(手付け金)を受け、残金を四月に受領して刀剣の引き渡しを行いました。この場合の消費税は何パーセントになりますか？

**A** 同上です。取引が成立していると思われ、五%です。

**Q** 三月に六回分割(延べ払い)で刀剣を売りました。消費税は何パーセントになりますか？

**A** 同上です。取引が成立していると思われ、五%です。取引が成立していると思われ、五%です。

**Q** お客さまから三月に研ぎを十数万円で請け負いますが、研師からの仕上がりは四月になりました。研師への消費税支払い増加分を顧客に転嫁することはできますか？

**A** 刀の売買(資産の譲渡)と研ぎの請負(役務の提供)とは、取引の成立要件が異なります。研ぎにつきましては、研ぎの仕上がり時点で役務の提供が完了したと認識するので、研ぎの仕上がり時が税率の

**Q** 今回の増税に伴う「便乗値上げ」は禁止されていますが、消費者庁は便乗値上げが起らないように監視体制を敷いておられます。ただし、その値上げが便乗値上げなのか、その他の要因による値上げなのかを判断することは困難であるため、問題になるケースは多くないかと思えます。

**Q** 海外への売上は？

**A** 海外への売上は免税売上ですので、消費税はかかりません。

2014.5.15 VOL.17

発行人 深海 信彦  
 発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会  
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
 新宿スカイプラザ1302  
 TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
 http://www.zentosho.com/

第17号編集担当  
 赤荻 稔 飯田 慶久 伊波 賢一  
 大西 芳生 大平 将広 嶋田 伸夫  
 清水 儀孝 生野 正 土子 民夫  
 網取 謙一 服部 暁治 藤岡 弘  
 松本 義行 冥賀 吉也 持田 信彦 伊波 賢一

### 「大刀剣市2014」出店申し込み迫る

第二十七回「大刀剣市」は、十一月一日(金)～三日(日)の三日間、東京美術倶楽部三・四階で開催します。今回より出店規約に変更があり、組合入会より一カ年出店を据え置くことが理事会で承認されました。出店を希望される方は、六月初旬に各組合員宛て発送される申し込み書に必要事項を記入し、六月末日必着で組合事務局まで、返送ください。なお出店希望多数の場合は、出店実績に基づき、実行委員会にて決定させていただきます。

判定時期となります。そのため、四月に完了したのであれば八%となるので、転嫁することが適切です。

**Q** 今回の消費税増税を機に価格の見直しを一齐に行いました。その結果、増税分以上の消費税込み価格のアップとなりましたが、問題はありませんか？

**A** 今回の増税に伴う「便乗値上げ」は禁止されていますが、消費者庁は便乗値上げが起らないように監視体制を敷いておられます。ただし、その値上げが便乗値上げなのか、その他の要因による値上げなのかを判断することは困難であるため、問題になるケースは多くないかと思えます。

**Q** 海外への売上は？

**A** 海外への売上は免税売上ですので、消費税はかかりません。

**Q** 三月と仮装して五%の消費税で処理した場合、どのようなペナルティーになりますか？

**A** 当該差額に対して重加算税(三五〇%)、延滞税(二四・六%)などの重いペナルティーが想定されます。

**Q** 身近に相談できる窓口は？

**A** 所轄の税務署や顧問の税理士に相談することをお勧めします。

消費税は、消費者の消費行為に担税力を求めて課税する税金であり、消費税を販売価格に適正に転嫁し、消費者に負担してもらわなければならない。政府としても事業者が負担することのないような環境づくりを徹底してはいますが、実際問題としては価格に転嫁しにくい経済状況であることも事実です。私たちは消費税の趣旨を理解し、業界が少しでも健全になるよう組合全体で取り組んでいかなければならない課題と思われま。

〈注〉Q&Aは参考意見としてご理解ください。実際の具体的なケースは顧問税理士にお問い合わせください。(松本義行)

■ 訃報 ■

後藤安孝氏 公益財団法人日本美術刀剣保存協会前事務局長で東京都銃砲刀剣類登録審査委員の後藤安孝氏が、四月八日逝去されました。七十八歳。ご冥福をお祈りします。

刀剣・書画・骨董

## 和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
 TEL 0258-33-8510  
 FAX 0258-33-8511

http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商

## やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」  
 年間10回位発行予定  
 購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10  
 TEL 042-463-5310  
 FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式

## 柳匠堂

### 柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八  
 TEL 〇八六二二二二二二二  
 工房 岡山市北区磨屋町七二二  
 TEL 〇八六二二二二二二二  
 FAX 〇八六二二二二二二二

刀剣古美術

## 三峯美術店

### 町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一六六一  
 西武秩父駅連絡通路町久ビル内  
 TEL 〇四九四二二二二二二  
 FAX 〇四九四二二二二二二

美術刀剣、小道具、武具類の  
 売買、加工及び御相談承ります

## 大阪刀剣会

### 吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七一  
 TEL 〇六一六六三二二二二  
 FAX 〇六一六六四四一五四四



# 刀 剣 界

昨年は重要無形文化財指定制度が施行されて六十周年に当たり、日本伝統工芸展も六十回を数えた。人言えは遺暦・耳順である。これを記念して今春、東京国立博物館では初めて「人間国宝展」が開催された。言うまでもないが、文化財保護法に基づき、「演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で、我が国にとって歴史上

が国の重要無形文化財や人間国宝に一層の注目が集まっている。人間国宝展にも連日きわめて多くの来場があったといい、誠に見心のある展覧であった。しかし、われわれ刀剣界の関係者にとって残念なのは、展示作品が「過去」の人間国宝のものばかりだったことである。高橋貞次・宮入昭平・月山貞一・隅谷正峯・天田昭次・大隅俊

刀剣商などにとって問題であるだけでなく、貴重な歴史的遺産である日本刀の保存と伝統の継承にとって大きな危機である。日本刀二人、刀剣研磨で二人が、あたかも定席であるかのような錯覚も実はあった。今になってわれわれは、人間国宝の存在の大きさ、人間国宝が内外に発信していた価値の貴重さを思い知らされている。

## 論説

### 人間国宝の誕生を熱望する

又は芸術上価値の高いもの」を無形文化財とし、そのうち重要なものとして指定されているのが重要無形文化財、そして連続と受け継がれる芸や技を高度に体得していると認定された人が重要無形文化財保持者、いわゆる人間国宝である。

平(以上「日本刀」)・本阿彌曰洲・小野光敬・藤代松雄・永山光幹(以上「刀剣研磨」)・米光太平(肥後象嵌・透)と累計で十二師を数えるが、昨年、天田師が亡くなられて斯界の人間国宝は皆無となり、日本刀も刀剣研磨も重要無形文化財の指定が解除されたままである。

刀匠や研師にとどまらない。ひととき優れた技術を持ち、なお錬磨を重ね、伝承者の養成に尽力し、人格・識見に優れ、何より日本刀を愛し、日々その保存と啓発に邁進されている方は、この世界に少なくない。あえて申し上げたい。今こそ人間国宝の誕生を。これを刀剣界全体の意思として、一人一人が確認されることを願います。

### 全刀商の活動 組合総会を振り返る

現在の多くの組合員は、全国刀剣商業協同組合総会は東京美術倶楽部です。と行われているとお思いでしょうが、実際はここ十数年のことです。

会場となったのは、東京港区の全日空ホテル(現在のANAインタールコンテナホテル東京)でした。百六十名余の出席者という盛大な総会と呼ぶよりは一大式典であったと記憶しています。

その後は、霞ヶ関ビル三十五階の東海大学校友会館にて四回ほど開催しています。平成十二年には、全国刀剣防犯協力連合会との合同総会をホテルオークラにて開催しています。また、神奈川県湯河原駅近くの越前屋旅館、静岡県熱海市の石亭と、出張総会も開催

最初の総会は、まさに組合設立総会そのものですが、五年に及ぶ設立準備期間を経て二十六年前に

黒田官兵衛に関しては、NHKの大河ドラマで放映中ですので、

### 黒田官兵衛の愛刀

黒田官兵衛に関する、NHKの大河ドラマで放映中ですので、

出目などは省略します。官兵衛は安土桃山時代の武将

## 発見届けの手順にご注意を!!

銃砲刀剣類登録証の交付は、各都道府県の教育委員会が登録審査後に行っています。その受付当日に必要なものは、登録審査を受ける刀剣類の現物と、刀剣類の発見後に警察署へ届け出た際に、新規発見として受理されたこと証明となる「発見届出済証」です。

剣や、元重ねが二・五ミリメートル以上あるものには登録証が必要なものと明記されていることです。従来、登録の対象はここまで厳格ではありませんでした。

所蔵する刀剣類が発見された際に、まず警察署へ届けるべきことはわかりでしょうが、近年その届け出方法を誤ると大変な結果になるので、当組合が発行した『やさしいかたな』の補足として紹介します。

このように発見届けの手順を誤れば、誰しもが同じ轍を踏むことになるのです。帰郷した際に実家で発見した刀剣を持ち帰り、現住地で登録しようと考えている方がまますみ受けられます。ご紹介した事例でさえ新規発見が認められなかったのですから、さらに登録のない刀剣を移動させたとして、この方は処罰の対象にさえなりかねません。

登録制度は昭和二十五年の銃砲所持取締令に始まり、銃法は昭和三十三年に施行されました(当初は銃砲刀剣類等所持取締法)。危言予防が主たる目的である同法はその後、変化する新たな犯罪に対応すべく改定を余儀なくされてきました。

『やさしいかたな』の中で、重要なことは「発見したそのまゝの状態、動かさずに(警察署へ)電話することです」と、唯一この箇所だけに傍線を引いて説明しています。発見届けの際に、それだけ重要なことなのです。

実例を一つご紹介します。自宅を整理した際に屏風を入れた箱が見つかり、骨董品を買い取り、初名孝高・官兵衛、剃髪して如水軒円清居士と号しました。初め小寺氏を名乗り、後に黒田氏に復しました。赤松氏の一族で御着城の城主であった小寺藤兵衛政職に仕え、小寺姓を与えられて姫路城を預かりました。

普段片付けなどしない場所から刀剣類を発見したら、自宅内といえども移動させず発見した状況のまま、速やかに所轄の警察署へ一報入れ、その指示に従って届け出を済ませていただきたい。先祖の残してくれた遺産として、また家の宝として守り伝えていく上で、まずは法律の厳守が一番の責務となります。

近年の改定で、刀剣業界の誰もが無視できないことは、刃渡り五・五センチメートル以上のもが登録の対象です。

「日光一文字」と号する無銘の刀である。現在は国宝に指定されており、長さ二尺二寸、反り四分、地鉄小肌肌よく詰み地沸厚くつき映り立ち、刃文は丁子乱れ重花風となり小足・葉入る。彫り物はなく、福岡一文字の作という。名称の由来は、日光権現に籠められていたことによる。代付は無代とある。

屏風箱が置いてあった下の畳の色は真っ青で、周りの焼けた畳との差は歴然としていますが、認めてもらえませんでした。

長さは二尺一寸三分八厘、反り四分、見幅広く重ねの薄造り込みで、大帽子となる。地鉄は小肌肌よく詰み、地沸細かに厚くつき。刃文は腰元皆焼となり、上は尖り刃交じりの小乱れ、匂深く小沸つく。帽子乱れ込み、先掃き掛ける。表裏に掻き流し樋がある。本作には桃山時代と思われる金打出鮫鞘の豪華な打刀拵が付されている。鐔は木瓜形で、表に題目、裏に瓢箪唐草の毛彫りがあり、在銘の信家である。

節目節目には来賓を招き、総会と懇親会を同時開催しています。その顔ぶれは、国務大臣・現職国会議員・警察庁・文化庁・日本美術刀剣保存協会・日本甲冑武具研究保存会・美術館関係の方々など多彩でした。

総会の内容そのものは例年通り、組合の現況、事業報告・決算報告・事業計画・予算などの審議ですが、過去には永年業界に尽力された方の表彰や、有識者を招いての講演会もありました。(服部 暁治)

官兵衛の嫡子・黒田長政にも有名な一刃がある。「へし切長谷部」という国宝の刀である。銘は金象嵌で指表に「黒田筑前守」、裏に「長谷部国重(花押)」とあり、本阿弥家九代光徳の手によるもので

この「へし切長谷部」は、信長、秀吉、そして長政と名將たちの腰間を飾ったもので、黒田家筆頭の名刀である。(藤岡 弘之)





# 風向計

其之十二

深海 信彦

報道によれば、四月二十五日、公安委員会の許可を受けずに客にダンスをさせたとして、風営法違反(無許可営業)の罪に問われた大阪市北区のクラブ経営者が、大阪地裁での判決公判で無罪(求刑懲役六か月、罰金百万円)を言い渡されたという。

判決理由の中で裁判長は、規制の対象となる営業について「客のダンスの動きなどの具体的な内容に照らし、性風俗秩序を乱す恐れがあるかを総合的に判断すべきだ」と指摘し、店内の状況を判断した上で風営法の規制対象ではなく、許可も必要ないと結論づけた。これに対して警察当局は、「住民からの苦情があったり、店内での喧嘩や薬物乱用、わいせつ事件などがある限り、規制や摘発を緩めることはできない」と、取り締まりの意義を強調している。

クラブともダンスとも縁遠い小欄の筆者ならずとも、このニュースは多くの人々に、示唆に富む新しい時代の流れを感じさせたことであろう。今までであったら、許可を受けずに店内で客にダンスをさせて摘発された経営者が、「性風俗秩序を乱すものではない」として無罪となることが考えられないことであった。

警察の摘発に遭えば、有罪は必ずであり、犯罪となるようなことなどしてはいないと主張しても、捜査機関の法運用に対しては従うしかなかったものである。ところが今回のように、摘発に当たっては、性風俗秩序を乱す恐れ、すなわち、享乐的であったか否かの違法性が立証されない限り、公判が維持されないとは、世の中、変わったものである。

さて、このような事件の判例を見ると、われわれの業界に最も関係の深い銃刀法の中で、第十七条(一)の所有者変更届出に関する法運用について考えさせられることが多い。この第十七条は第二十三条の発見の届け出とともに、刀剣に係る全国の国民に関わることであり、自己の責に有するか否かを問わず、ある意味では一方的に降りかかってくるのである。

それ以外の銃刀法をはじめとする諸法規は、正しく順守してさえいれば、身に累が及ぶことはなく、平穏な市民生活が約束されているのに対してである。

売買や譲渡、相続などの正当な手段で入手した刀剣類を、法に従って二十日以内に当該登録証発行の都道府県教育委員会・教育庁に所有者変更の届け出をすると、登録証の記載内容と台帳とが一致しないという理由のほかに、台帳に該当するものがない、既に再発行されている、輸出等の手続きで文化庁に返還済みである等の理由で変更届出が受理されない例が最近とみに増加している。

この刀剣類の入手という行為が公序良俗に反し、市民の生活を脅かす違法なものであると言いつけるであろうか。そもそも今日のよう所有者変更の届け出が活発になったのは、警察の指導でも、文化庁の呼びかけでもなく、全国刀剣商業協同組合の設立に起因している。組合設立後四年を経た平成三年、組合は刀剣関係の諸法規を守り、警察行政・文化行政に協力する目的を持って『やさしいかな』という小冊子を発行し、警察庁の編集協力のもとで遵法精神の高揚、殊に所有者変更届出や発見届出に關しての啓蒙を二十三年間にわたって継続させ、その結果今日のような届け出件数の飛躍的増加をみたのである。

刀剣類の所持等に関する違反や事故を減少させ、ひいては刀剣を業とする者に対する社会的認知度を高めようとして『やさしいかな』をはじめとする組合機関誌や本紙を継続してきた努力が、かえって事業をやりにくくさせる皮肉な結果を招くとは、当初から考えも及ばなかったことである。

増加するテロ対策等で銃器に対する規制の強化はわれわれ国民の安全を守るためであり、警察当局の方針は十分に理解し得る。しかし、所持することそのものが違法である銃器と登録刀剣とを同一の観点から取り締まってしまうというのが、刀剣に関わる者の願望である。

そのためには、われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

にいきなり被疑者のような立場に追い込まれるとは、本人にとっては不条理もこの上ないことである。この刀剣類の入手という行為が公序良俗に反し、市民の生活を脅かす違法なものであると言いつけるであろうか。そもそも今日のよう所有者変更の届け出が活発になったのは、警察の指導でも、文化庁の呼びかけでもなく、全国刀剣商業協同組合の設立に起因している。組合設立後四年を経た平成三年、組合は刀剣関係の諸法規を守り、警察行政・文化行政に協力する目的を持って『やさしいかな』という小冊子を発行し、警察庁の編集協力のもとで遵法精神の高揚、殊に所有者変更届出や発見届出に關しての啓蒙を二十三年間にわたって継続させ、その結果今日のような届け出件数の飛躍的増加をみたのである。

刀剣類の所持等に関する違反や事故を減少させ、ひいては刀剣を業とする者に対する社会的認知度を高めようとして『やさしいかな』をはじめとする組合機関誌や本紙を継続してきた努力が、かえって事業をやりにくくさせる皮肉な結果を招くとは、当初から考えも及ばなかったことである。

増加するテロ対策等で銃器に対する規制の強化はわれわれ国民の安全を守るためであり、警察当局の方針は十分に理解し得る。しかし、所持することそのものが違法である銃器と登録刀剣とを同一の観点から取り締まってしまうというのが、刀剣に関わる者の願望である。

そのためには、われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

れたいものである。われわれ刀剣商組合の組合員がまず襟を正し、真摯な態度で刀剣を取り扱い、不正や事件性のない登録証の記載事項の不備等については穏便な措置を訴えたいものである。われわれ刀剣商組合の努力により、発行時の多くの登録証の記載ミスも発見さ

一葉の記憶

## 好況期の日本美術刀剣保存協会全国大会

昭和四十八年八月二十六日、京都・平安神宮近くの京都勤業会館で、高松宮ご夫妻をお招きして、財団法人日本美術刀剣保存協会(日刀保)の第二十二回全国大会が開催された(写真)。史上最多の参加者があった大会だった。オイルショックはあったものの、世は右肩上がりの好況に沸き、刀剣業界はウナギ登りの勢いだった。刀の即売会が活況を呈し、あちこちのデパートで開催された。



刀剣商から刀を買えば、別の刀剣商がすぐにまた買いに来る。数寄者にはなにかしらの余得があり、手持ちの刀はワンランク上の刀に置き換わっていた。

当時の自民党税制調査会長・山中貞則氏は、刀剣の価格があまりに加熱しているのを危惧し、忠告を寄せられるほどだった。俗な表現をすれば、アマチュアの刀剣愛好家も刀を投機の対象として没頭していたのである。

(名古屋市長・伊藤典夫)

れたことであり、当局の期待する現所有者の特定も以前よりは進んだはずである。法は法として、まず、われわれ刀剣商組合の人となりを見ての法運用を願いたいものである。

懲役六か月、罰金百万円の求刑に対して、無罪を勝ち取ったクラブ経営者の人となりについては知る由もないが、もしも彼が札付き

のワルで、常習的に違法行為を繰り返していたならば、当該事件の裁判長は無罪を言い渡していたであろうか。法は人が決め、人が裁く。故に、万一法の判断に直面した場合には日ごろの行動の積み重ねがモノを言う。日ごろから正しく刀剣を取り扱ってれば、いざという時に法も、法の運用者も、ちゃんと見てくれるはずである。

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定

**株城南堂古美術店**

代表

## 田中勝憲

〒153-10051  
東京都目黒区上目黒四-1-101  
TEL 03-371-0167  
03-371-0167  
03-371-0167  
FAX 03-371-0167

刀剣・小道具・甲冑武具

目白 **飯田高遠堂**

代表取締役 飯田慶久

〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615

<http://www.iidakoendo.com>

**株美術刀剣松本**

**松本 富夫 義行**

〒278-0043 千葉県野田市清水199-1  
TEL 04-7122-1122  
FAX 04-7122-1950

[www.touken-matsumoto.jp](http://www.touken-matsumoto.jp)

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑

日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.

**株日本刀剣**

伊波賢一 Ken-ichi Inami

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

銀座 **泰文堂**

〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11  
松崎煎餅ビル4階

株銀座泰文堂 代表 川島貴敏

TEL 03-3563-2551  
FAX 03-3563-2553  
フリーダイヤル 0120-402037

<http://www.taibundo.com>

**刀剣 高吉**

古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!

連絡先 090-8845-2222

代表者 高島吉童

東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116

[www.premi.co.jp](http://www.premi.co.jp)



# 刀 剣 界

私が出会った珍品・優品

眞賀吉也

## アメリカでの名刀と人との出会い

今から十年ほど前までの約十五年間、名刀を求めてアメリカ各地を探し歩いてきたところの話である。

アメリカでは、「ジャパニーズ・ソード・ショー」というものが年に七八回開催されていた。各都市の有力な愛刀家を中心となり、ショーを主催するのである。二月には温暖な気候のフロリダ州タンパで、四月にはヒューストン、八月は涼しいサンフランシスコ、十月は紅葉の美しいシカゴといった具合である。そのほか、日本刀剣保存会のアメリカ審査会に合せて、ニューヨークやロサンゼルスでも開かれていた。

ショーには全米をはじめヨーロッパ各国、日本などから愛刀家を中心に三百人ほどが集まり、三日

間開催される。ホテルの大ホールを借り切って一〇〇〜一五〇ものテーブル(一五〇×一八〇センチ)が並べられ、その上に日本刀や鐔・小道具類、火縄銃、甲冑等々が、展示という状態よりむしろただ置いてある。研ぎ上がった刀はまれで、うっすらと錆のあるものが多い。鑑定書の付いているものはなく、増してやブライスの付いているものなど皆無である。

持ち主はテーブルの向こう側にニコニコしながら座っている。興味のある品物は「メイ・アイ・スィー(見てもいいですか)」と断って見せてもらう。多くは自分で柄を外し、見終えたら柄に収めて返すのがルールである。

値段を聞くと、いろいろなケースにぶつかる。時に相場の何倍も

もの値を付ける者がいたかと思ふと、真面目に答える方もいる。「メイク・オフアー(値段を付ける)」と言われた場合、それからが面白い。こちらが百万円きつりに付けると相手は百五十万円と言

い、結局百二十万円前後で買われることがよくある。最初から事情を察して値を付けなくてはならない。

最も注意しなければならぬのが、値段交渉に長い時間を費やすことだ。十分も二十分も折り合い

と思われ、ひそかに行動を監視し、聞き耳を立てているちゃっかり屋がいるのである。

また「アンダーテーブル商品」と言って、展示していないが自分の気に入った客にだけ特別に見せる商品がある。実際に、びっくりするようなものに何点か出くわしたことがある。こんなときは、飛行機に乗って帰るばるやってきた

このようにショーは実に面白い、魅力的であり、行く前は心が踊り、「大間のマグロ漁師の心境もかくありなん」と思う。ショーに最初に連れて行ってくださったのは、美術師の鶴田一成さんである。無理をお願いしたところ、快諾してくださった。また、ご一緒していたく度に、実に細かく丁寧な指導をいただいた。

例えば、入国する際の注意点(一万ドル以上持ち込む場合、必ず書類を提出する。万一これを怠ると、全額没収されるケースもある)と、金額没収されるケースもある。

丁子油はその名称に権威があり、手入れ油すなわち丁子油という使われ方がされ、丁子油でない鉱物油にも丁子の文字を冠することがあった。

丁子油の製品化は、寛永年間にさかのぼる。丁子は、インドネシアのモルッカ諸島原産の植物である。つばみが釘の形をしているので丁子・丁香と呼ぶ。主成分はオイゲノールで、抗酸化作用と抗菌・鎮静・痛み止め・胃痛に効能があり、甘い香りがする。スパイスとして食用にも利用した。歯痛に効くので、年配者は歯医者のかいと呼ぶこともある。丁子は正倉院に伝世している。

る、ホテルの部屋のセキュリティには十分に注意を払うこと、アメリカ人ディーラー各々の性格、さまざまなエチケット、団体旅行と異なり一人旅はすべて自己責任で行動すべきこと等々、その場その場の実践に即した注意点を教えてくださった。おかげさまで十五年間、無事故で海外出張をすることができた。深く感謝申し上げます。

その間には数多くの思い出がある。全米主要都市や観光地を歩き、見聞を広めることもできた。日本刀を通じて、世界中に友人もできた。日本から同じショーに行く同業の方たちの中でも、安東孝恭氏・服部暁治氏・旗合三男氏らは年齢的にも近く、気心も知れ、海外での仲間意識もあり、今でも親しくさせていただいている。

名刀とも巡り会えた。延宝五年紀の井上真改、五字忠吉の刀、則房の太刀など印象深い。中でも無銘来国行との出会いは

に参加したことがうかがえる。当時、英蘭の大船団は南方のスパイスを独占することで莫大な利益を得ると同時に、香りの文化をヨーロッパにもたらした。当時の先進国は香りを愛し、薬効を分析し医学を発展させたのであり、それはわが国も同じであった。

長崎奉行牛込左衛門は、これら香葉の精油輸入による銀の流出を憂い、和蘭通詞六名に丁子を含む十種の香葉を精油化する技術を和蘭人から習得させた。これが水蒸気蒸留法による精油国産化の始まりであった。研究の主要は『紅毛流油製法図記』にまとめられ普及した。

泉州堺で始まった丁子油の製造は一子相伝が守られ、幕末には六軒が独占的に丁子油を製造販売していた。一番古い家が、岡村瑞碩を祖とする岡村家である。岡村家

忘れることができない。今から二十年ほど前のシカゴ・ショーのことである。私が二十代後半のころ、加島進先生に国宝童子切安綱の太刀を手にとって見せていただいたことがある。そのときの背筋がゾクゾクした感激を鮮明に覚えているが、国行との出会いはそれに近いものだった。

大磨上無銘ながら二尺三寸前後、身幅やや広めに平肉豊かにつき、切先延び心の猪首切先、輪反り高く凛とした太刀姿である。表裏ともに棒樋を力強く掻き通す。地鉄小板目肌地に沸細かによくつき、地景入り、沸映りが立っている。刃文は小沸出来の広直刃調に湾れ、小丁子・小乱れ交じり、刃中に足・葉入り金筋入る。帽子乱れ込み、掃き掛けている。

二字国俊か、来国光か、あるいは郷義弘かと期待は大きく膨らんだ。何度見ても名刀の雰囲気が出てくる。今この刀を買わなければ絶対に後悔すると、後先も考え

では今も一子相伝を守り、製法は明らかにしていない。岡村家の丁子油広告には「きりきず・痔・歯痛・火傷・ひびあかきれ・婦人の顔に塗る・娼業・ほうそう・髪の毛を黒くする・熱病・風邪・その他」と多くの効能を挙げ、庶民にも普及していた。

泉州佐野は廻船業を営む「飯」と「唐金屋」の本拠地であり、諸国物産を集積する蔵屋敷があった関係で、薬種の供給が容易であり油屋も多かった。佐野一界間は八里、紀州街道を徒歩半日の距離である。当初薬用や化粧用であった丁子油が、刀剣の手入れ用になった前後は不明であるが、次のことが推測できる。

匂いを楽しむこと、実用としての薬効や防錆効果が武士の琴線に触れたのかもしれない。武士は当時のインテリであり、秀吉・家康

ず、有り金をはたいて買い求めた。自分のものにしてからは、早く日本に持ち帰り確認したかった。胸が躍った。帰国早々に藤代松雄先生を訪ねた。先生はじっくりご覧になり、「郷も悪くはないが、やはり来国行かな」とおっしゃった。そのときの安堵感、今でもよく覚えている。

その後、鍾と白鞘を新調し、松雄先生に最高に研いでいただいた。以前に増して名刀の輝きが発揮された。保存刀剣・重要刀剣・特別重要刀剣と、最高位の指定まで一気に駆け上ってくれた。

縁あってこの国行は手放したが、昨年の暮れ、約二十年ぶりにあるところで再会した。拝見した瞬間、すぐに国行とわかった。懐かしくもあり、うれしくもあった。ヒケ一つない完璧な保存状態で、いかに大事にされてきたか想像がつく。

その日は一日中うれしく、晩酌が少々過ぎてしまった。が愛してやまなかった香葉への愛着もあつたらしく、切り傷の治療や痛み止めに対処できること、大切な差し料を清浄に保て、手入れ時に冷静になれるなどの安心感もあったことだろう。前夜の手入れで丁子の香りに鎮静し、明日の決起を断念した武士もいたかも知れない。

日本刀は単なる工業製品ではない。シリコンで空気を遮断し、錆を防ぐという行為が手入れというならば寂しい限りである。丁子油は椿油と丁子の精油を混合したものであろうことは容易に想像できる。

製法はさておき、刀剣業界が手入れ油に理解を示し、本来の手入れ法を啓蒙することは業界発展と無関係ではないと信ずる次第である。『引用図書』『東西香葉史』山田憲太郎著(奈良県斑鳩町・山本均)

## 寄稿 丁子油の話

刀剣を趣味とすることで、当時の人物や歴史の背景に触れることができ、幅広い知識や感性を身に付けることができる。

われわれが普段何気なく使っている手入れ油も、古い時代は何を使っていたのかと想像することは、刀をより深く理解する上で大切なことである。しかし、丁子油や手入れ油として流通している油の素材や効能についてあまり語られることはなかった。



刀剣を趣味とすることで、当時の人物や歴史の背景に触れることができ、幅広い知識や感性を身に付けることができる。

い性質を持つ。ゴマ油・菜種油・桐油などは乾燥する油で、防水や塗料の基材として利用された。接着剤のくすねは、松脂にゴマや菜種の油を添加することで乾燥後硬化する。乾燥しない椿油は塗布後、拭き取ることが容易なため、刀剣の錆止めや髪油として最適である。奈良時代には、中国の使者が帰国時に椿油を欲しがったという。

動物油のうち鯨油は、欧米の産業革命期に灯油や機械油に使用された。鯨は深海に潜るため油が凍らない特性があり、工業用として乱獲されたのである。牛脂や豚脂は、防水用として銃器の薬包に塗られた。インド兵の大反乱は牛を神聖視するヒンズー教徒や、豚を忌避するイスラム教徒の、牛や豚の油脂が塗られた薬包の使用を強

制した宗主国英国への反感がきっかけとなった。鉱物油は石油の精製過程から揮発油・マシ油・パラフィンなどが得られる。高純度の精製でワセリンなどが得られ、薬品や化粧品、工業用まで幅広く利用されている。人工高分子化合物であるシリコンは、潤滑剤や撥水剤として広く普及している。

刀剣類の手入れ油の現状について考えてみよう。油は精製度が高いほど無色無臭であり、流動性が高い。現在普及している手入れ油は、植物油である丁子油と鉱物油である手入れ油の二種に大別できる。鉱物油は無色無臭で安価なため普及度が高く、丁子油や椿油の愛用者は一言持つ愛刀家が多い。シリコンは安価なため、手入れの頻度が高い博物館でも使用している。

戦国大名は南方貿易でジャコウ・丁香・龍腦・伽羅・沈香・白檀を求めた。朱印船の海図にはモルッカ島を丁香山と明記し、英国やオランダと並んで丁子の争奪戦



ブック・レビュー BOOK REVIEW

総花的だがレベルは高い「刀がわかる本」

別冊宝島 『日本刀の本』 本体八三八円十税 宝島社

「刀って、買えるんですか？」友人や知人から、これまで何度も向けられた質問である。「何のために買うんですか？」これもよくある質問。

その都度、私は、登録されている刀剣は誰であれ、所持・売買可能であること、そして刀は主に鑑賞するものであり、その姿の凛々しく、地刃の美しさたるや、おそらくこの世のどんな宝石よりも美しいと話し、そして愛刀家の多くが、自身の所持する刀で物を切るなど夢にも思わないと伝えると、一様に「へー、そんなものですか」と返ってくる。

多くを語れば語れば、浮いてしまい、揚げ句の果てには「マニアックなんですよ、相変わらず」などと言われてしまうので、私はただ「そうですね、ですよ」と言いながら、ニコニコしている。「見る機会があれば、一目瞭然なんだから」と思っていたが、この度絶好の書が発刊された。その名もずばり『日本刀の本』。出版は趣味にまつわる本や雑誌を発行し、多くの読者層を誇る宝島社。

とにかく、ビジュアルは本である。大きさはA4判で九十六ページほど、薄くて飽きも入り、書棚にもかさばらない。大変親しみやすい一書である。価格も八百三十八円(税別)と破格の安さ。それなのに「全国の名刀八十四振掲載！」なのである。

反響は爆発的だ。編集者もびっくりしているらしい。この本の読者が即、自分も一振りしてみたいとは思えないかもしれない。しかし、「こんな世界もあったのか」と新鮮な発見をするに違いない。本の内容を見ていこう。まず第壹部では、鬼丸国綱や三日月宗近、国宝の大包平や、つまり青江などの著名な名刀を取り上げている。従来は、こういう名刀を取り上げて、「はい、はい、素晴らしいでしょ？」と大体おしまいだった。そして「ふん、すごいなあ」と思う半面、心のどこかに「詮は無縁だな」の念を持たざるを得なかった。しかし、この本は名刀がなぜ名刀なのか、刀がなぜ魅力的なのかに迫るべく、さらに進

んでいく。「刀の詠み方」の章がそれ。「日本刀の発祥と変遷」では、平安時代、鎌倉時代、室町時代、そして江戸時代と、刀とその作者について資料を示し、詳しく解説している。資料は刀剣店の所蔵の写真資料である。

以下、「太刀と刀の違い」「美しさはどこにある」「江戸時代の刀の特質」「武器としての刀の位置づけ」「刀身彫刻の魅力」「装剣小道具の変遷と見どころ」の小節を設け、解説文と写真を添えて示し、刀剣と拵や鐔の美の世界に入っていく。

それらは周防の武田家伝来の宝相華文兵庫鎖太刀拵や上杉家伝来の黒漆塗鞘打刀拵、毛利家伝来の登城用大小拵のよう、かつて所持した家が判明する作をはじめ、しかるべき武家に伝来したであろう作で、その保存状態と品質が抜群である。写真を見ても楽しめる。説明も簡潔にして明快。

「刀口のはなし」 堂本剛著 本体二四〇〇円十税 角川書店

堂本剛と書かれてもピンと来なかったのだが、Kinki Kopsの片割れと聞いて、何となくわかったような気がした。しかし、「剛」がどちらかはわからない。その程度の知識でこの本を読んだのだが、堂本剛氏、なかなかどうして対談の名手であり、NHKのプロデューサー氏が、堂本氏と賢人たちが本気で向き合い言葉を紡いでいく中で、誰か一人の何か一言が、今を生きている人にとってはたいしたもの、その思いを十分満たしてくれる対談集である。河内国平刀匠との対談は、奈良県東

この本は読み進むと、刀がどうやって作られたものなのか、また今でも製作している人はいらぬのだろうか、という疑問を抱くことであろう。そこで第壹部は「刀を創る」と題して、刀匠・研師・白銀師・柄巻師・鐔師・鞘師・塗師と、刀に関わる職方とその仕事を紹介している。一振りの刀の製作にさまざまな人の手が加わっていることが、イラストを交えて大変わかりやすく説明されている。

第叁部は再び伝説的な名刀の世界へ。聖徳太子の七星剣など、古代の大刀や剣、鎌倉時代の太刀拵、そして刀剣博物館蔵の龍門延吉の太刀や五条兼永の太刀、来国行の太刀など、国宝・重文指定の刀剣がずらりと並び、解説文の充実度も高い。さらに製鉄の歴史や蝦夷地の古い刀剣の歴史を簡単に振り返る「刀の源流」も面白い。

読者が刀にまつわる知識を得るの極致ともいえるべき刀剣・刀装の魅力を知ること、愛好者の裾野がわずかでも広がれば、

吉野村平野の鍛刀場で行われるのだが、奈良は堂本氏の故郷であり、子供のころは刀鍛冶が仏像修復師になりたかったというところから始まる。

河内刀匠が刀の初心者である堂本氏に教える刀剣の三つの見どころ、刀の姿、地鉄、刀文。それに、刀の重さはバット一本ぐらい、刀の歴史は千年以上の積み重ねで、「工芸品は手に持たなアカンですよ。やっぱり体で感じなアカン。手で重みだとか、冷たさだとかさ、すべて自分で、五感で見なアカン。陳列したものを見てたって絶対わからへんよ」と論ずる。そして堂本氏も「本当に今、贅沢ですね。奈良のふるさとで」と答える。「あほになる」ということについて、河内刀匠が語る。「あほになんねん」これ「はか」ちゃって大阪弁の「あほ」というのは、いい言葉や。「あ」というたら、平仮名の「あ」



この本の目的は達せられるのであろう。願わくは、この書を出発点としていただきたいものである。すなわち一層の興味を持ち、刀の世界にも一歩踏み込んでいく方が少なからず出てくることに期待したい。刀の世界は奥が深いからである。

先曰、「刀剣界」に抱負を語ってくれと依頼があり、断り切れずに書くことになりました。人様に語るような事柄を特に持ち合わせはあらず、今までのことを少し思い返してみました。

周の方々には、冬の大事な時期によそ見をせず作刀に励みなさい、と言われたのですが、興味を持ってしまい、体験をしてみたいことには収まりがつかなくなっていました。参加をした。

河内刀匠が堂本剛氏をおもんばかったからその対談だが、堂本氏も見事にその話を受け入れてくれた。あとの対談相手五名は、大阿闍梨、プロ登山家、料理プロデューサー、保守、武術研究者である。ぜひ一読をお勧めする。(持田貞宏)

若者広場 14 田中貞徳(刀匠) すべての体験は 作刀のために

まだに足手まといになっているところもあるのですが、しばらくは勉強をさせていたかどうかと思っています。

当時のコンクールは年に一回だけでしたが、今ではコンクールの数も増え、作品が目につく機会も多くなっています。それはそれで結構なことだと思えますが、一人一振りの出品であれだけの数が並ぶと圧巻でした。

私はあまり展示会に出品しない方なので、周りの方々にはお叱りを受けます。仕事場を移転し、落ち着いてきましたので、これから出品していくことを考えています。鍛冶屋は出品するとき、加工費など経済的な面で負担が大きいので

北総鉄道が切り開く原野の真った中に、田中貞徳刀匠の職場があった。この素晴らしい環境に縁があったのは、今までの地道な努力を伸がみ落とさなかったからにはかならない。そこで今、氏は全日本刀匠会主催の「お守り刀展」の構想にある。(網取譲一)



ですが、今まで出品を控えておられた方々には、どの展示会でも構いません、賑やかに共に一振出ししてみませんか。後は作品に……。 ■連絡先 〒274-0063 千葉県船橋市習志野台四五八-三 ☎ 九〇七二六二一七〇九 ■一筆啓上 昭和四十七年生まれの中貞徳刀匠は、その童顔のため年齢よりずっと若く見える。 二刀剣市には平成十二年から現代刀コーナーに欠かさず詰めているので、組合員で彼の顔を知らない者はいないし、彼の人の良さがわかる人はいない。商人の勘というやつだ。実際、マメに動く体を使って矢面に立ち、刀匠メンバたちをさまざまな摩擦から守りつづけてきた。現代刀の魅力の一つに、作家に接見でき人柄に触れることというものがあるだろう。天才と評されながら私生活はアルコール依存で乱れ、周りに迷惑をかけ天折したような昔の刀匠をタイムマシーンで今に連れてきて人気投票対決でもしたら、一〇〇対〇のブッチギリで田中刀匠の勝ちに決まっている。 ただし、作品は遠い将来まで世に残されていくべき、その優秀を問うのはまた別なコンペでもあることは、氏にも痛いほどわかっている。今、田中刀匠は岐路に立たされているのだ。 この『刀剣界』編集委員の土子民夫氏が、実に気になる評価を田中刀匠に対して持っていた。人に教える、人に伝える、これが美に適切で上手いのだという。 田中刀匠もいつの日か「親方」と呼ばれる日が来るだろう。相鎚を打ってくれる若者でも迎えたら、過去の天才刀匠の幻影なども怖くない、そんな作品が出来るとも思えない。 全国美術刀剣会(毎月十六日の競売)の昼休み、人気の仕出し弁当は可愛い魚屋さんの小僧さんのイラストを見るときにマメに動く童顔の田中刀匠を思い出していたが、この勝手なイメージは払拭しなくてはいいないだろう。



ふるさと自慢 第8回

●神奈川県藤沢市辻堂  
湘南の風

小野 敬博(研師)

東京より東海道線で小一時間の距離にあり、電車から降りた多くの方がスウィーハーと湘南の空気を吸い、ホッとした顔をする所、



辻堂海岸から見た江ノ島

それが私のふるさと辻堂です。

辻堂の名は室町時代からあるようですが、戦後に本格的に住宅地として発展し始めた町で、そのころは風紋の美しい砂丘や松林も多くあったようです。

私が子供のころ遊んだ海も、今より浜辺がもう少し広く、松もそこいら中に生えていた記憶があります。

辻堂の自慢できる場所と聞かれたら、まず答えるのが「何もなく、のんびりした町」と答えています。

駅から南に延びた一本道をゆっくりと五分ほど歩けば、家族連れにピッタリな辻堂海浜公園があり、浜

刀剣商リレー訪問⑩ 笠原泰明さん・崇弘さん

父子でいそしむ刀剣・古美術趣味の普及

東急目黒線の武蔵小山駅から歩いて十分、都内最長を誇るアーケード商店街を抜けると、中原街道沿いに創業六十五年の老舗「虹雅



虹雅堂と笠原崇弘さん

堂」がある。東急池上線の戸越銀座駅や荏原中延駅から徒歩十分少々、三駅利用可能でアクセスも良い。

主人の笠原泰明さんは昭和十七年生まれ。多くは語らないが、人柄が良く、ポリシーがある

と、業界で一目置かれる方である。昭和二十三年、先代が自宅のそばで開業し、二十七年に現在地に移転。今は三代目に当たる子息の泰弘さん(三十三歳)と二人で店を切り盛りする。

古美術の世界では、刀剣(道具類)(陶器・茶道具・絵画など)の両方に

辺に降りれば左に江ノ島、右に鳥帽子岩、振り向けば富士山、目の前には多くのサーファー、空にはトンビが飛び、これぞ湘南辻堂という景色があります。

今後も変わってほしくない景色ですが、辻堂も再開発が進み、駅北口に湘南地域最大の大型ショッピングモール「テラスモール湘南」が平成二十三年十一月にオープンしました。「何もなく、のんびりした町」がどうなってしまうのか心配していたのですが、確かに駅の利用者や周辺の車は増えたけれど、遊びに来ている人たちも

のんびりしていて、以前の辻堂と変わらない雰囲気です。これからは、辻堂の自慢できる場所はと聞かれたら、「何でもある、のんびりした町」と答えています。

皆さまもぜひ「何でもある、のんびりした町」に足をお運びください。お待ちしております。

目が利く人は珍しく、文字通り「何でも扱える」数少ないお店の一つである。そんな虹雅堂の店内には、ジャンルを問わずさまざまな商品が並ぶ。

泰明さんは全刀商の先駆者的存在として昭和二十七年に発足した東京美術刀剣商業協同組合の現理事長で、交換会の会場になっている新橋プラザビルの一室も管理されている。ここは刀剣に関する催しに貸し出しをしているので、勉強会などを開催したいが適当な場所が見つからない、という方はぜひ相談してみよう。

情緒あふれるオシャレな下町、武蔵小山を訪れる際は虹雅堂にもお寄りしてみてください。(大平将広)

■虹雅堂 〒142-0063 東京都品川区荏原二一七-13  
03-3781-1658-11  
http://nttbj.itp.ne.jp/  
0337816582/index.html

02 海外通信 海外の刀剣事情  
—アメリカのソード・ショーを中心に—

ここ数年、「大刀剣市」には海外から熱心な愛刀家の方々多数にご来場いただいています。アメリカやヨーロッパ、アジア、ロシア、アフリカなど確実に世界中の愛刀家が増えています。アメリカでは年に三回、ソード・ショーが開かれます。二月のタンパ・ショー、四月のシカゴ・ショー、八月のサンフランシスコ・ショーで、小さなショーならアメリカ国内でもまだいくつもあるそうです。

会場には所狭しと刀剣、刀装具が展示され、盛んに売買取引がなされます。各ショーとも全米はもとよりヨーロッパ、ロシア、アフリカなどから、やはり熱心な愛刀家の方々が大刀剣市同様に大勢集まっています。

彼らもまた、われわれの大刀剣市のように、いかにお客さまに楽しんでいただくか工夫をしています。その一つが、日本から職人さんを招いて行う公開実演です。海外では滅多にお目にかかれない機会ですから、お客さまは興味津々です。

基本的に会場はホテルの大広間であることから、当然会期中はそのホテルに宿泊しての開催になります。



米国の刀剣ショー風景

ます。朝は九時ごろに始まり、夜は十時くらいまで開かれるなど、日本とは少し違った感覚で皆さんがそれぞれに楽しみながら行われています。

また海外の愛刀家の方々は、われわれと変わりなく熱心に勉強にも取り組んでおり、その姿はわれわれも見習わなくてはならないほどに真剣そのものです。定期的に鑑賞会を開いたり、インターネットを通じて盛んに意見交換などを行っています。

われわれなら疑問に思ったこと、わからないことがあるとき、先生方や諸先輩に簡単に質問ができたり、多くの刀剣書をひもといて調べたりすることが出来ます。

彼らは簡単に質問をすることもかなわず、言葉の壁があるために本を読むことも難しいのです。われわれにとっては当たり前のことですが、彼らにはその一つ一つが大きな障害となっています。そんな状況にあっても、刀を愛する気持ちには国境、言葉の壁も越え、確実に世界に広がっています。

これからの刀剣界全体の使命として、日本国内での普及啓蒙活動だけではなく、グローバルな展開が求められます。二〇〇九年秋にニューヨークのメトロポリタンミュージアムで開催された「ART OF THE SAMURAI」のような展示会が世界中で開かれることにもなれば、日本刀は一部の愛刀家だけのものではなく、世界の文化遺産として尊敬を集めるものになるでしょう。

私も刀剣界の一員として、自分のできることを小さなことからでも行ってみたいと思います。(齋藤 恒)

趣味の3 うしちく

刀剣界ゴルフ部

飯田 慶雄

なぜか私は随分なゴルフ好きと業界では噂されているらしい。茶会の手伝いに参れば「ゴルフ上手いんだろ!」と呼び止められ、刀剣趣味で知られる日本を代表する某プロゴルフファー氏に至っては、来店一言目で「ゴルフ相当好きなんだろ!」と切り出される始末である。仕事もせずに放蕩していると思われているのでは、と心配になる次第である。

大学で体育会のゴルフ部に入部し、競技ゴルフにはまった。私の所属した学習院大学ゴルフ部はOBの支援が並々ならぬことで知られ、練習場で毎日五〇〇〜一〇〇〇発と球を打ち込み、土日は契約いただいていたセントラルゴルフクラブにてキャディーとして使ってもらった。当時はキャディーを勤めると無料でラウンドさせていただけだったので、早朝四時に車で先輩を迎えに行き、仕事前と後に好きなだけ練習することができた。

ゴルフバックを背に担ぎ、ガチャガチャと音を立て、夜明け前のゴルフ場に嬉々として走り出していた。当時は確かに「狂が付いたかもしれない。おかげで二〇〇を切るのが目標の初心者が、四年間でハンデ四までメキメキと腕が上がった。



左から新堀徹氏・齋藤恒氏・深海理事長・筆者(「週刊ゴルフダイジェスト」平成26年3月25日号より転載)

普通であれば卒業後はゴルフを忘れ、年に数回の娯楽ゴルフへと変更したところであろうが、おそろしく私のゴルフ人生にとって最も大きな転機となる出会いがあった。深海信彦理事長である。月に一度のコンペに混せてもらい、素晴らしい名門コースの数々に挑戦させていただいた。氏は私が出会った中で、間違いなく最高の情熱にあふれたアスリート・ゴルフファーで、節制を徹底し、自己を鍛え、雨が降ろうが風が吹こうが、一切ひるむことなくコースに立ち向かう。その姿勢、気迫はまるで修験者が悪鬼羅刹を調伏する不動明王のごとくである。

「仕事を目いっぱい頑張る、わずかに残った時間で上手くなることに価値があるんだ!」と熱く語られたとき、ああ、この人は仕事にもゴルフにも人の倍、いや三倍の意欲を持って当たる人なのだと思い至った。仕事と趣味の二つを上手く循環させているからこそ、成果を挙げることが出来るのだなと感銘を受け、このようになりた

いと強く憧れたものである。とはいえ、言うは易く行うは難しで、体はなまり、昔の無理がたたくて体にはガタが来た。この業界は定年もなく、先輩方には長く元気に仕事を続けられている方が多いが見ると皆さん、健康的な趣味を何十年と続けられているようである。それが充実した仕事を続ける一つのコツなのではないだろうか。

三十歳の節目にもう一度師の言葉を肝に銘じ、充実した刀剣商人人生を歩むためにも、その背中につき進みたいものである。刀剣界ゴルフ部、随時会員募集中であります。



イベント・レポート

公益財団法人日本刀文化振興協会

三重県桑名市で刀剣講座を開催

昨年、三重県桑名市の昭和印刷株式会社より刀剣講座の依頼がありました。ご承知のように桑名市は千子村正所縁の地であり、当協会が積極的に進めている「刀剣調査事業」や「学芸員講座」「天然砥石調査」など公益法人としての日本刀の普及・啓発等事業の一環としてお引き受けしました。

刀剣講座は昭和印刷主催、桑名市の後援、桑名市教育委員会ほか地元企業十二社の協賛により、三月十六日に開催されました。午前・午後それぞれ二時間の入れ替え制で、合計八十名のご参加をいただきました。各時代の刀を十振と太刀拵や打刀拵など四点を用意し、手に取って鑑賞してもらえよう配慮しました。今回は村正がメインということではなかったのですが、村正は短刀一振の用意にとまりました。村正はそれだけ人気商品であることで、ご理解をいただきました。



桑名市民に解説する宮入氏(正面左)と筆者

刀剣講座は、宮入小左衛門行平氏による日本刀の基礎知識と取り扱いや鑑賞方法の説明があり、私からは村正に関する基礎的な内容をお話ししました。村正の研究は多くの方々によって行われ、発表もなされていますが、昭和二十八年に書かれた「伊勢の刀工」の中の地元四日市市在住だった故稲垣善次氏の論文や、価格

が記載されている月刊「銀座情報」などの資料を基に、村正の出身地や妖刀村正伝説の所以(ゆえん)、美濃伝や相州伝との関連性と村正の美しさの見どころなどを取り上げました。その後、参加者全員による刀剣の鑑賞会が開かれ、宮入氏が出品刀や外装の解説に当たりました。

鑑賞会には村正の鍛錬所跡とされる馬道駅北側の走井(はしりい)山麓近くにお住いの桑名市長の参加もあり、故稲垣氏のお知り合いや村正銘の包丁を販売している方など、多くの方々とお話できました。また、さまざまな質問や今後への期待の言葉を頂戴するなど、大きな反響がありました。大変有意義な講座となりました。実はこの刀剣講座は二月十六日に予定されていたのですが、大雪による交通事情悪化のため、いったん中止となりました。



国広展が開かれた古河歴史博物館

古河歴史博物館  
「堀川国広とその二門」展に事寄せて…  
三月十五日から五月六日まで、茨城県古河市の古河歴史博物館において「堀川国広とその二門」展が開催された。私がリポート担当となったので、四月二日に参観した。



「侍アート・甲冑」展の魅力を盛況

高槻市立しるあ歴史館  
「侍アート・甲冑」展の魅力を盛況  
三月十五日から五月十一日まで、大阪府の高槻市立しるあ歴史館で「侍アート・甲冑」展が開催された。一般社団法人日本甲冑武具研究保存会近畿支部が協力し、展示品の多数を会員が提供した。会期中は連日、入場者が絶え間なく、見応えのある展覧会と好評だった。凶録も発行され、定価五百円ながら、とても充実した内容だった。

甲冑を楽しむと題する連続講座も企画され、四月六日には「自宅でも楽しむ甲冑」(千田康治学芸員)、同十三日には「変わり甲冑のおもしろさ」(須藤茂樹四国大学講師)の講演があった。また五月五日には、こどもの日イベントとして「ほんものを着てみよう!」色紙カブトづくりが行われ、家族連れで賑わっていた。

「侍アート・甲冑」展の魅力を盛況  
「甲冑を楽しむと題する連続講座も企画され、四月六日には「自宅でも楽しむ甲冑」(千田康治学芸員)、同十三日には「変わり甲冑のおもしろさ」(須藤茂樹四国大学講師)の講演があった。また五月五日には、こどもの日イベントとして「ほんものを着てみよう!」色紙カブトづくりが行われ、家族連れで賑わっていた。

公益財団法人日本刀文化振興協会  
平成二十五年度文化庁助成「文化遺産を活かした地域活性化事業」が終了  
公益財団法人日本刀文化振興協会(刀文協)と刀匠のまち「坂城」の文化遺産活用実行委員会が実施団体となり、文化庁の助成を受けて、昨年より実施してきた「文化遺産を活かした地域活性化事業」事業はこのほど、「長野県における日本刀の調査事業」および「長野県の学芸員のための日本刀実践人材育成事業」をもって終了し、年度内に文化庁への報告を完了した。

「調査事業」は、実行委員会の主催となった坂城町、坂城町の展示館の豊富な経験と、刀文協会員の協力によって大きな成果が得られ、目的は十分に達せられた。



学芸員講座の参加者と講師陣

公益財団法人日本刀文化振興協会  
「靖国神社遊就館で「現代刀鑑賞会」開く  
私たちが全日本刀匠会関東支部では毎年元旦から三週間ほど、靖国神社遊就館において「奉納・新春刀剣展」を開催させていただいております。都内で、現代刀をこれだけの期間、しかも最高の環境で展示していただけるのはたいへんありがたいことです。

「調査事業」は、実行委員会の主催となった坂城町、坂城町の展示館の豊富な経験と、刀文協会員の協力によって大きな成果が得られ、目的は十分に達せられた。

「調査事業」は、実行委員会の主催となった坂城町、坂城町の展示館の豊富な経験と、刀文協会員の協力によって大きな成果が得られ、目的は十分に達せられた。

「調査事業」は、実行委員会の主催となった坂城町、坂城町の展示館の豊富な経験と、刀文協会員の協力によって大きな成果が得られ、目的は十分に達せられた。

「調査事業」は、実行委員会の主催となった坂城町、坂城町の展示館の豊富な経験と、刀文協会員の協力によって大きな成果が得られ、目的は十分に達せられた。



# 催事情報

## ■大垣市郷土館

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2-4 ☎0584-75-1231

### 郷土に受け継がれた刀剣展

美濃の刀剣は、大和・山城・備前・相州と並んで五箇伝に数えられています。その特徴は「折れず曲がらずよく切れる」という言葉が示す通り、操作性に優れ実戦に適したものでした。特に、その代表格とされる「兼定」や「兼元」は、切れ味の鋭さから戦国武将に好まれただけでなく、

各時代を通して愛好者が多い刀剣です。今回の企画展では、五箇伝の刀剣をはじめ、美濃地方の刀剣を展示します。また、特別展示として、大垣市の神社に奉納された刀剣や郷土の先賢である谷木因の子孫に受け継がれてきた刀剣を展示します。  
会期：4月19日(出)～6月1日(日)

## ■立花家史料館

〒832-0069 福岡県柳川市新外町1 ☎0944-75-1060

### 特集展示「よくわかる刀剣の見方—柳川藩主立花家伝来の刀剣—」

初代藩主・立花宗茂が元和6年(1620)に柳川に再封されて以来、明治維新まで代々柳川11万石を治めてきた立花家。大名であった江戸時代の立花家は家格に相応しい刀剣を多数所持していましたが、現在、立花家史料館が所蔵する立花家伝来の刀剣は20口にも及びません。しかし、これらの刀剣は、国宝の短刀や重要文化財の剣をはじめ、立花家にとって最も重要な刀剣ばかりであり、刀

剣が今に至るまで残されてきた経緯には、そのまま立花家の歴史が映し出されているのです。本特集展示では、柳川藩主立花家に伝来した刀剣と鐔・目貫・小刀・笄などの刀装具を紹介するとともに、難解と思われがちな刀剣の鑑賞法をわかりやすく解説します。名刀と言われる刀剣の機能美を、立花家の歴史と併せて十分にお楽しみください。  
会期：4月19日(出)～6月22日(日)

## ■徳川美術館

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017 ☎052-935-6262

### 春季特別展「將軍からのおくりもの—儀礼と拝領—」

尾張徳川家は、江戸時代を通じて時の將軍からのおくりものを幾度も受け取ってきました。中でも拝領品と呼ばれた品々は、当主の元服・婚礼・後継ぎの誕生や名古屋への初入国などの儀礼の際に、祝いの品として届けられた品物です。これらは、徳川將軍家との深い関係を示すあかしとして、尾張徳川家では大事に伝

えられました。おくりものに込められた徳川將軍家から尾張徳川家への想いを、当館の所蔵品から探っていきます。3代將軍家光から下賜された名物「後藤藤四郎」(国宝)も展示されます。  
会期：4月12日(出)～5月25日(日)  
月曜休館

## ■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728

### 特別展「大阪遺産 難波宮—遺跡を読み解くキーワード—」

難波宮跡の第1次発掘調査は、前年に見つかった鷗尾(しび)の破片を大きなきっかけとして、山根徳太郎博士の主導のもと、昭和29年から開始されました。初期の調査では、瓦は見つかるものの、建物跡が見つからず、「難破した宮」「山根の宮」とも揶揄されました。しかし、宮殿に関わる掘立柱の発見をきっかけに建物配置が徐々に判明し、昭和36年に行われた第13次調査では、ついに奈良時代の後期難波宮大極殿跡を発見しました。その結果、長らく幻とされた難波宮跡が、その存在を世に知られることになりました。現在で

は、飛鳥時代と奈良時代の前・後二時期の宮殿跡が明らかとなっています。本展では、このような長年にわたる調査成果とその発掘史を、この間の出土遺物や当時の記録類、当館所蔵の山根博士旧蔵資料などを用いて、瓦や土器、文字といった簡明なキーワードから読み解きます。展示では難波宮発掘調査の過去と現在を示すとともに、それが未来に向けた、私たち共有の大切な遺産であることを紹介します。  
会期：6月21日(出)～8月18日(日)  
火曜休館



「aikuchi」は世界にアピールする「伝統工芸」と「革新的デザイン」の融合が今、後世にどのようにならばたいのか、注目の目である。(飯田慶雄)

そんな彼を日本生粋の伝統工芸である日本刀制作に引き込み、東北出身の伝統工芸作家たちとのコラボレーションにより、まさに現代アートとしての日本刀に完成させたのがWOW Inc.代表の高橋祐士氏。作品名の「aikuchi」は、鐔を持たない形状の日本刀「合口」を指している。使い手を保護する鐔がない合口は扱いにくく、武器として機能しにくい。だからこそ、太平の世に愛する「平和と友好のかたちだ」と高橋さんは言う。今回、ニューソン氏は、この合口の持つ意味に共感し、この考え方を作品に昇華させた。本作は鞆のグラフィックパターン、鐔の加工法、紐、収納ケース、ディスプレイに至るまで刀身以外のすべての刀装具デザインを各職人の意見を取り入れながら制作。厳密には合口ではなく、鞘だけでなく柄にもケースがあり、外すと小さな鐔が現れる斬新なデザインだ。刀身制作は宮城県大崎市で江戸中期から名跡の続く法華三郎信房氏。大和伝保昌派の伝統を継いだ柱目肌の美しい意匠。柄の先まですっぽりと覆い、マーク・ニューソン氏がよく用いるポロノイ図のグラフィックパターンが施された鞆は、東北伝統秀衡塗の職人・佐々木優弥氏が、刀を飾る鞆は岩谷堂鞆の及川孝一氏が、それぞれ丹精込めて仕上げた。作品が特異ならば、そのプロモーション手法の革新性にも驚かされた。東京美術倶楽部のワンフロアを借り切って展示された作品は大小二点のみ。プロジェクターによるWOW制作のプロモーションムービーも流された。(ムービー: <http://www.wow.co.jp/aikuchi/>、視聴可能)

## マーク・ニューソン氏デザインの日本刀が誕生

本年三月、今までにない全く新しい手法で制作、プロデュースされた日本刀が世界に打って出た。オーストラリア出身の世界的プロダクトデザイナー、マーク・アンドリュース・ニューソン (Mark Andrew Newson) 氏と仙台・東京・ロンドンに拠点を置く、ヒジアルデザインスタジオ「WOW Inc.」が手を組み、世界限定十組の制作された「aikuchi」が東京美術倶楽部にて発表された。マーク・ニューソン氏は、ヨーロッパ・北米・アジア・オーストラリアを活動拠点とし、その作品は腕時計から航空機まで幅広く、ニューヨーク近代美術館やロンドンのデザインミュージアムの永久収蔵品にも選ばれた現代アートの奇才である。

戦国時代は「シャネル家」という名家が存在したそうです。皆さんはご存じでしょうか？ 美術家の野口哲哉さんが当時のシャネル世界を紹介する初の個展を開かれていると聞いて、私は会場となった練馬区立美術館へと向かいました。

館内に入り、まず野口さんを見つけてよと探していると、こんなにちびと声を掛けられ、振り向くと三十代半ばの青年が立っています。もしかして野口さんですか。とてもさわやかな雰囲気です。挨拶を済ませ作品の案内をお願いします。館内には、一貫して鐔をまとった武者を題材に、新作を含め作品約九十点を中心に、彼の発想の原点となった古今の美術作品や写真、グラフィックデザインなどがすばらしい迫力で展示されていました。

多様な現代素材を駆使して鐔武者を製作し、空想と現実が一体となる幻想的な世界を創造する美術作家です。フランスのココ・シャネルが興した高級ファッションブランドのダブルCマークを家紋とする甲冑を身にまとった紗鍔家(シャネル家)の武者像「シャネル侍甲冑像」は、ひときわ目を引く代表作です。また、兜にプロペラを付けて空中を浮遊する武者の絵画作品「ホバリングマン 浮遊図」は昔、このような武者が実在したかのように奇怪な世界を演出しており、訪れた人々を不思議な空間に誘っています。

味を持ち始めた方たちに、実際に手に取って現代刀の良さを感じてもらおう、新しいファンを増やそうと、数年前、私はじめ若手の刀鍛冶有志で開催したのが最初でした。昨年からは、この新奮刀剣展のイベントとして開催させていたことが、今年になり大雪の中でも非常に好評で、定員いっぱいになってしまったほどです。今年も、新奮刀剣展に出品した作品

野口さんは一九八〇年、香川県高松市の生まれ。広島市立大学芸術学部油絵科に進学し、油彩画制作と並行して樹脂粘土を使用した立体作品の制作を開始。同大学大学院修了。今や樹脂やプラスチックなど、多種

品を実際に手に取っていただき、さらにそれぞれの作品について作者自身が解説し、お客さま楽しんでいただくことにしました。鑑賞会は、定員を決め、応募には住所・氏名・連絡先などを明記することなどを条件とし、もちろん初心者の方たちには、鑑賞方法や作法をしっかりと伝えることにしました。

当日参加した刀鍛冶は十名、出品者は九名で、それぞれの刀には作者がついています。質問もできますし、安全面も万全です。定員の三十名を超えての応募があり、半分が女性であったことは驚きでしたが、非常に心強さを感じました。鑑賞会は、柄を付けての鑑賞、刀の製作について工程モ

デルを使いながらの解説、柄を外し、それぞれの作家の紹介と作品解説、質疑応答と進みましたが、皆さんとても楽しんでおられました。作品解説では、専門用語をできるだけ使わないことを心がけ、製作時の苦労話なども話しましたが、これが、作者が生きている現代刀ならではの楽しみと非常に好評でした。

甲冑が大好きなあなたにもお勧めします。それはそれは精巧で正確に造られた武者の甲冑を拝見していると、一つ欲しくなります。私は今日から一生懸命お金を貯めて野口さんに相談することにしました。

作品展には多くのテレビ取材もあり、大盛況でした。また三十四歳の野口さん 活動期間は短いとはいえず、コレクターは国内外に及び、展覧会出品作、個展での評価も高く、今まさに注目される作家の一人です。これからのさらなる活躍を期待します。野口さん、お忙しい中、取材のご協力ありがとうございました。(生野 正)



野口哲哉さん(左)と作品

今回の一番若い方は九歳の小学生で、お母さまに連れてきてもらったとのことでしたが、非常に熱心で、また刀の扱いも大変丁寧に、感動しました。お客さまにとっても、私たち刀鍛冶にとっても、楽しい有意義な時間であったことを報告させていただきます。(全日本刀匠会関東支部支部長・川崎卓平)